

『流域から都市・地域環境の再生を考える』(10月発刊予定)

リバーフロント研究所 主席研究員 中平 善伸
水辺・まちづくりグループ 研究員 森川 陽一

科学技術基本法に基づく第二期科学技術基本計画に「自然共生型流域圏・都市再生イニシアチブ」が位置付けられたのを機に、「自然環境と共生した都市を再生していくためには流域の視点が重要である」という認識・趣旨に賛同する研究者が集まり、ワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生」実行委員会が組織され、各研究者相互の情報交換や様々な分野の方々との取り組み等の共有化を図る活動(ワークショップ)を行ってきました。

本書は、その第4回から第8回までのワークショップでの講演内容とともに、「流域から都市・地域環境の再生を考える」をテーマとして開催した研究者等による座談会での議論をとりまとめたものです。

行政・研究者等をはじめ、一般の方々にも幅広く読んでいただき、都市・地域環境を再生していくための流域での取り組みに活用していただければ幸いです。

なお、本書は、(財)日本宝くじ協会様の助成を受け、作成するものです。

◇本書の特徴

- ・ 本書の1章から4章までは、流域圏研究の内容が網羅的に把握できるよう、これまでのワークショップでの講演内容を中心に、流域圏研究の位置付けや基本的な考え方、国内外における取り組み例を分かり易くとりまとめました。
- ・ 5章の座談会では、流域圏研究に携わる12名により、気候変動等による地球温暖化をはじめとする地球規模の課題、人口減少・少子高齢化、生物多様性の危機等の問題、農林水産業や土地利用などが抱える喫緊の課題など、多岐に亘る問題に流域圏の視点からどう対処すべきか、さらには、国民目線での流域圏研究に向けての取り組み、方向性等について議論し、課題解決のための基本的な視点や推進すべき施策事例について提言としてまとめています。

◇構成(予定) (敬称略)

はじめに(丹保憲仁)

1. 流域圏の基本理念
虫明功臣/野尻幸宏/原沢英夫/大西隆/
篠原修
2. 総合的な流域圏研究の取り組み

池田駿介/石川幹子/辻本哲郎/端憲二/
福田晴耕/渡辺正孝/国包章一/吉川勝秀/
恩田裕一

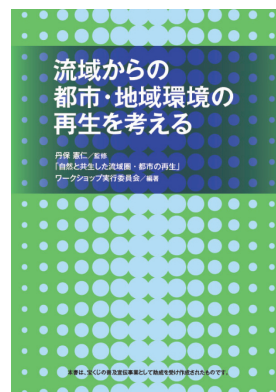
3. 地域における流域圏研究の実践
末吉興一/小野勇一/吉田正彦/虫明功臣/
海野修司/岸由二/泉峰一/端憲二

4. アジア地域での流域環境研究の展開
砂田憲吾/北村義信/丹治肇

5. (座談会)「流域から都市・地域環境の再生を考える」

丹保憲仁/虫明功臣/池田駿介/石川幹子/
砂田憲吾/吉川勝秀/岸由二/原沢英夫/
岸田弘之/中達雄/木幡邦男/竹村公太郎

(順不同)



(表紙イメージ)

■シンポジウム開催の御案内

ワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生」実行委員会(丹保憲仁委員長)では、(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受け、下記のとおりシンポジウムを開催します。

詳細につきましては、当センターホームページ等でお知らせしますので、奮ってご参加ください。

日時：平成22年12月7日(火)13時～
場所：科学技術館サイエンスホール
(千代田区北の丸公園2-1)

テーマ

「流域から都市・地域環境の再生を考える」

プログラム

基調講演(養老孟司氏)

事例発表、パネルディスカッション